

南朝石刻

—中国南京市とその周辺のみ
に残る南朝時代の石像物—

2023.06.03

長田 格

Kaku Osada



南京明孝陵（明の初代皇帝、朱元璋の墓、世界遺産）の前衛 6種×2×2



目次

1. 南朝石刻とは
 2. 主要な石刻
 3. 日本
- 参考文献、ほか



高さ6.5m

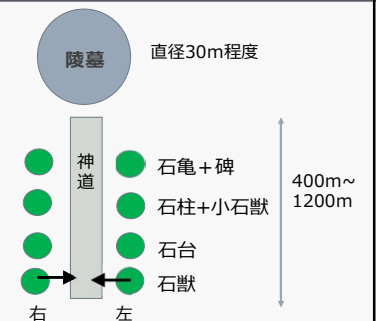


1. 南朝石刻とは

南京市とその歴史、石刻の全体

南朝石刻とは

- 南朝時代の皇帝・皇族の陵墓のお守り
 - 南京市中心部（棲霞区、江寧区）と鎮江市（句容市、丹陽市）のみに残る
 - 巨大な石灰岩を丸彫り
 - 石獣は3種
 - 麒麟 角1
 - 天禄 角2 麒麟と区別しない場合も
 - 辟邪 角0 獅子とも
- 皇帝陵なら麒麟（右）と天禄（左）
皇族陵なら辟邪2



麒麟

- 四霊獣（麟、鳳、龍、亀）の筆頭
- 偉大な王が現れた時のみ、現れる
- 仁獣であり、けっして他の生物を傷つけない
- 牡が麒、牝が麟
- 体長は約2m、躰は鹿、尾は牛、足は馬、五色、一角。

	伝説	実在
日本橋	麒麟	キリン
麒麟麦酒	麒麟	長頸鹿
	英語	a legendary Chinese animal with a single horn,.. giraffe



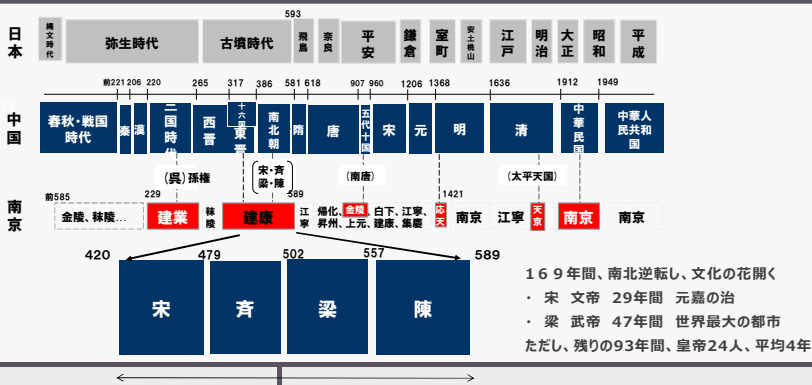
1911年、渡辺長男（1874-1952）作。
日本橋から全国に向けて飛び立つ

南京市

- 江蘇省省都、人口800万人
- 約2,000km²
- 上海の西約300km
- 十朝の都
- 中国四大古都の一つ
西安、洛陽、北京、南京



南朝 420-589



南朝石刻の数（場所）と皇帝陵

時代	南京市		鎮江市		計
	栖霞区	江寧区	丹陽市	句容市	
宋		1初寧陵			1
齊			5永安陵、景安陵、修安陵、興安陵		5
梁	6(+2)	1	3建陵、修陵、庄陵	1	11(+2)
陳	2万安陵、永寧陵				2
不明	1(+2)	2(+3)	3		6(+5)
計	9(+4)	4(+3)	11	1	25(+7)

• 数字は全体の数（場所数）
皇帝陵以外を含む
• () 内は外数
石獣のないもの
• 表記以外に、南京の博物館所蔵品2（時代不明）



2. 主要な石刻

宋～齊～梁～陳

長さ0.84m、高さ0.81m

宋 420-479 劉氏

- 1 武帝 裕 (363-422 在位420-422) -- 2 少帝 義符 (406-424 在位422-424) しよほう
 +- 3 文帝 義隆 (407-453 在位424-453)
 +- 4 考武帝 駿 (430-464 在位453-464) -- 5 前廢帝 子業 (449-466 在位464-466)
 +- 6 明帝 彧 (439-472 在位466-472) -- 7 後廢帝 昱 (463-477 在位472-477)
 -- 8 順帝 準 (469-479 在位477-479)

初寧陵

初寧陵 422 宋初代武帝 劉裕 <南朝石刻最古>



右：麒麟 長さ3.2m 高さ2.6m

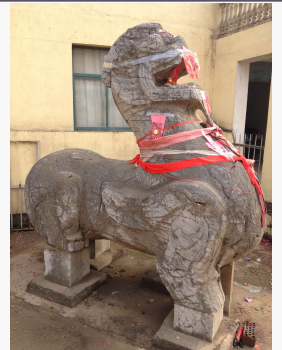
左：天禄 長さ3.0m 高さ2.8m

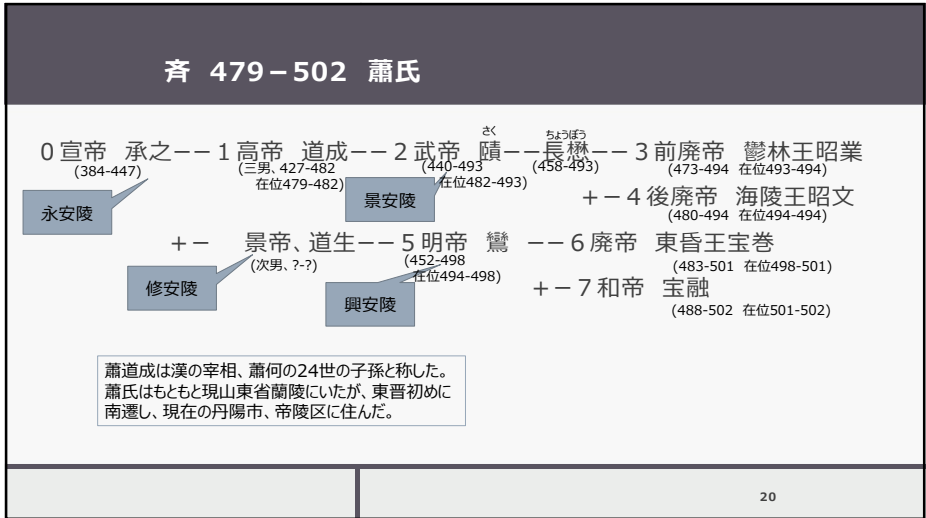
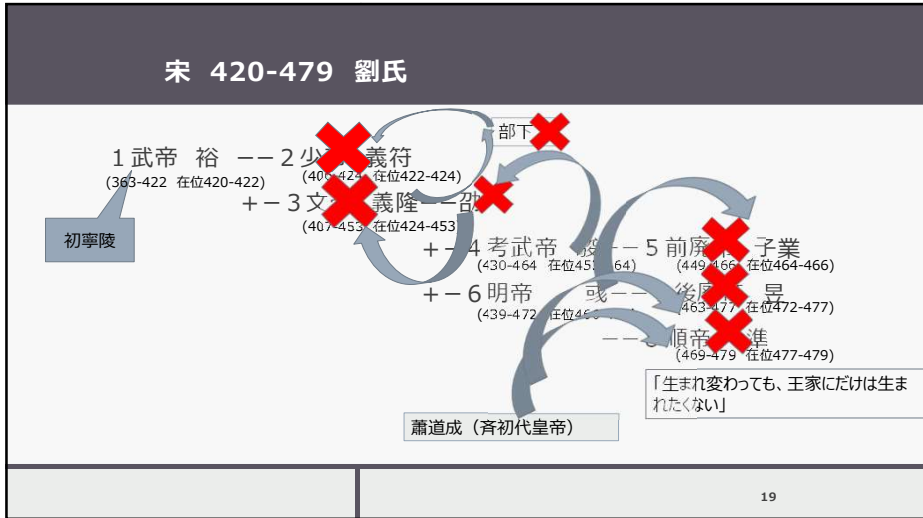
初寧陵 422

- 南京市江寧区、東、麒麟門
 - 麒麟、天禄（一对）
 - 初代皇帝、武帝、劉裕の墓
- 363-422 在位420-422

<伝記>
 『中国人物叢書 3 劉裕』吉川忠夫 人物往来社 1966
 『王朝 陶甕なり』相木鐘三 幻冬舎 2015
 「皇帝の座を巡る終わりのなき争い。なぜ国は興り、滅びゆくのか。中国南北朝時代、宋王朝の建国と栄枯盛衰を描く大河長編」
 『劉裕』小前 亮 講談社 2018
 「腕力と器量は無限大。無頼の徒が帝位を目指す！」

366 徐州（鎮江?）の下級役人の家に生まれる。気性は荒いが、器量は大きく、小さい頃から大望を持った。軍に入り、のし上がっていく。
 399 五斗米道の乱を平定、上級将軍に
 403 桓玄が反乱、安帝を廃し楚を創始、第10代安帝：382-419 知的障害
 404 桓玄を滅ぼし、安帝復位、宰相に。
 410 山東方面の南燕を滅ぼす
 417 長安中心の後秦も滅ぼす
 しかし南が安定せず、南北統一には至らず
 418 安帝を退位させ、恭帝を擁立
 第11代恭帝：386-421、安帝の弟、英明
 419 安帝を殺害
 420 禅譲を受け、即位。57歳、宋建国
 421 恭帝を殺害
 422 病死
 禅譲→前帝殺害の初めての例





景安陵 493 齊二代武帝、蕭蹟



左：天禄 長さ3.2m

右：麒麟 長さ2.7m

景安陵 493

- 丹陽市前茭
- 麒麟・天禄（一对）
- 二代武帝、蕭蹟の墓

440-493 在位482-493

齊立国前、父の蕭道成に従い、東に西に征討した。

477 沈攸之が西で反乱を起した時、独断で滎口（ふんこう、江西九江）を占領し、首都を守る体制を確立

479 齊建国、立太子

482 即位、在位12年
農業・商業を推進、賦役を減免
学校教育を重視し、孔子廟を建てた。

南朝名君の一人。永明の治。

493 病死



修安陵 494 齊景帝、蕭道生



右：麒麟 長さ2.9m

左：天禄 長さ3.0m

修安陵 494

- 丹陽市仙塘湾
- 麒麟・天禄（一对）
- 景帝、蕭道生の墓

生没年不詳、現山東省出身

宋の軍に入る

齊立国前に死亡

齊立国後、始安王に。

494 息子の明帝即位後、追尊。

地宮が発掘されている。墓室は9m×5m、高さ4.4m。周りは大型のレンガで、虎の絵などが描かれていた。



興安陵 齊五代明帝、蕭鸞



右：麒麟 長さ3.0m

左：天禄

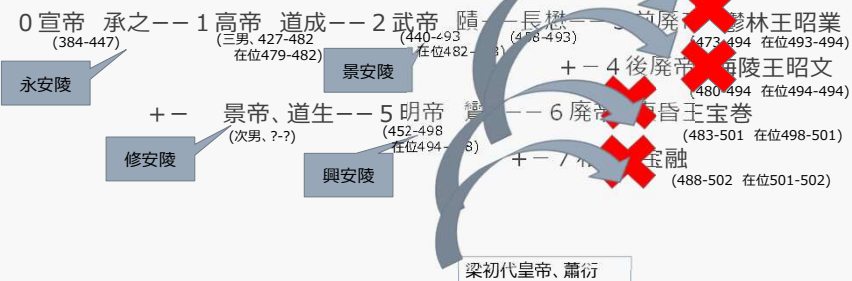
興安陵 498

- 丹陽市三城巷北
 - 麒麟・天禄（一对）
 - 五代明帝、蕭鸞の墓
- 452 - 498 在位494-498
幼い頃に父が死去、初代皇帝高帝に引き取られ育つ。

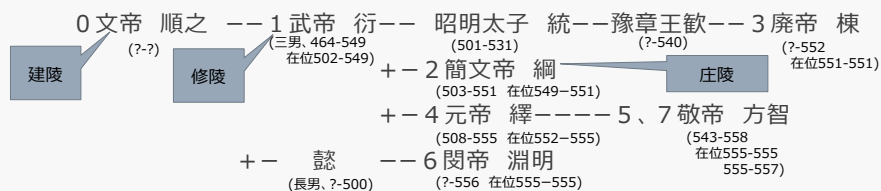
493 二代皇帝、武帝崩御、三代の鬱林王(20歳)を補佐鬱林王が享楽に耽り、政治の実権を握る。
494 鬱林王を殺し、廢す。次に海陵王(14歳)を擁立。実権は握ったままで、3か月で廢す。五代皇帝に即位、海陵王も殺す。
政務はきちんと行ったが、猜疑心が強く皇族を次々と殺した。
498 病死



齊 479 - 502 蕭氏



梁 502 - 557 蕭氏



順之の四代前の蕭整から齊の蕭氏と分かれた。

建陵 502 梁文帝、蕭順之



右：麒麟 長さ3.1m

左：天禄 長さ3.1m

建陵 502

- 丹陽市三城巷北
- 8つの跡がある。石柱の上に麒麟等はない。
麒麟・天禄（一对）、石台基2、石柱2、石碑座2
- 文帝（初代武帝の父、追尊）、蕭順之の墓

生没年不詳。（宋代生まれ）
若い頃から蕭道成（齊の初代皇帝）と親しく、軍の統率を補佐。
齊の建国と共に要職を歴任。

右石柱に正書、左石柱に反書で、「太祖文皇帝之神道」



修陵 549 梁初代武帝、蕭衍



左：天禄 長さ3.1m

修陵 549

- 丹陽市三城巷北
- 天禄一つだけ
- 初代武帝、蕭衍の墓
464-549 在位502-549
在位47年、歴代5位
(1位 清 康熙帝 61年 1661-1722)
若い頃から文武両道で活躍。文化の中心、竟陵(きょうりょう)王蕭子良（齊武帝の次男）の西邸に出入りし、沈約（宋書編者）らと共に「竟陵八友」に数えられる。

500 齊の六代皇帝、蕭宝卷が讒言に寄り長兄、懿を殺す
501 蕭宝融(和帝)を奉じて兵を挙げ、宝卷を殺す。和帝即位
502 和帝より禅譲を受け、梁建国、即位
沈約の進言により、和帝を自殺させる「**不可慕道名而受実禍**」
大学設置、人材登用、租税軽減などにより黄金時代
仏教へ傾倒、皇帝菩薩
→南朝四百八十寺
548 侯景の乱、大虐殺
549 幽閉され、餓死



庄陵 551 齊二代簡文帝、蕭綱



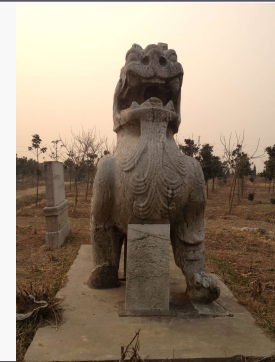
左：天祿

庄陵 551

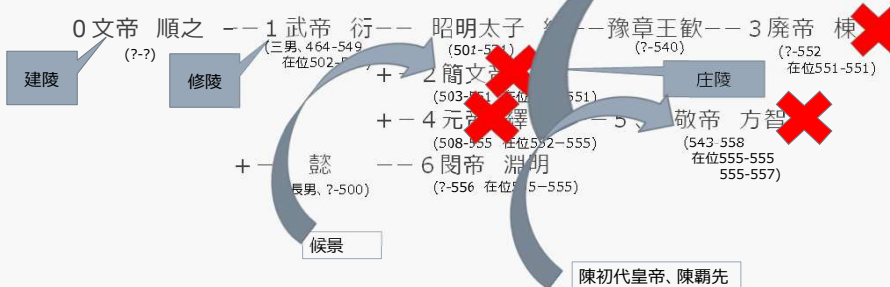
- 丹陽市三城巷北
- 壊れた天祿、石柱 2
- 二代簡文帝、蕭綱の墓

503-551 在位549-551
武帝の次男として、梁建国後に生まれる

531 兄の昭明太子が病死、皇太子に
548 候景の乱により、監視下に
549 武帝死去、即位、傀儡
551 廃位、蕭棟が即位、候景に殺される



梁 502-557 蕭氏



• 梁代の主要皇族墓

- 蕭景墓石刻 南京のシンボル
- 蕭秀墓石刻 揃っている
- 蕭績墓石刻 句容、美

蕭景墓 523 蕭衍の従弟

- 南京市栖霞区十月
- 辟邪 1 (左)、石柱 1 (右)
- 武帝、蕭衍の従弟、蕭景の墓
477-523

優秀で早くから重職を歴任、県令の時、この人を見習えと言う指示がでた。

508 將軍として北魏の侵攻を大破

518 揚州刺史

523 揚州で病死

1956年、辟邪 2 体と石柱 1 つが発見された。辟邪 1 体は、修復不能で埋め戻され、1 体を修復。



40

蕭景墓 石柱 反左書

梁故侍中
中撫將軍
開府儀同三司
吳平忠侯
蕭公之神道

梁故侍中
中撫將軍
開府儀同三司
吳平忠侯
蕭公之神道

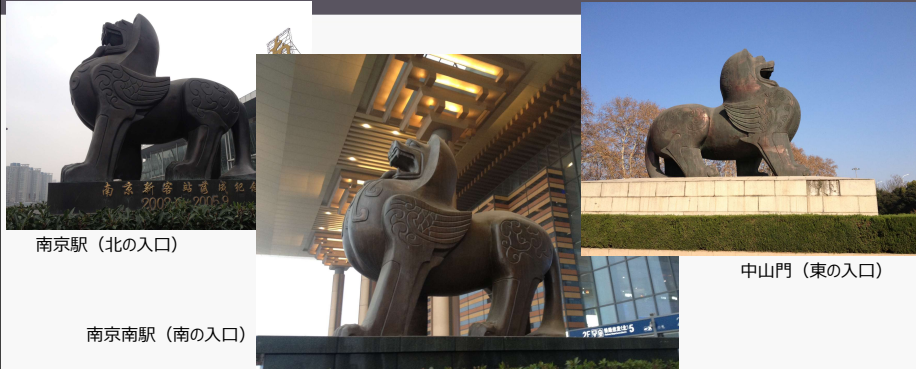
自ら幕府を開くことができ、三公同様の儀礼と待遇を受けることができる

現江西省樟樹市



41

蕭景墓石刻 南京のシンボル



南京駅 (北の入口)

南京南駅 (南の入口)

中山門 (東の入口)

42

蕭秀墓 526 武帝の第7弟、蕭秀



亀+石碑、石柱基礎、亀、辟邪

44

蕭秀墓



辟邪、亀、石柱、亀+石碑

45

蕭秀墓



『守望—栖霞地区南朝石刻大観』

46

蕭秀墓 526

- 南京市栖霞区甘家巷小学校
- 辟邪 2、石柱 1、石柱基礎 1、石碑 2、亀 2（石柱が一つ失われている。これがあれば完璧だった）
- 梁初代皇帝、武帝の弟（7番目）、蕭秀の墓
475-526

各地で刺史を務め、善政を行った。飢饉のときには、私財を投じて庶民を救った。病死したが、人々は皆嘆き悲しんだ。



47

蕭績墓 529 武帝4男、蕭績



左辟邪

右辟邪

蕭績墓 529

- 唯一、句容市
- 辟邪 2、石柱 2
- 梁初代皇帝、武帝
の 4 男、蕭績の墓
504-529

若くして病死。陶弘景
(456-536)に憧れていたた
め、その隠居地である句容に
埋葬された。医学者・科学
者で、道教茅山派の開祖

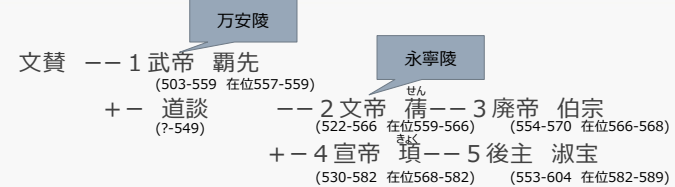


石柱の上に辟邪

石柱と辟邪 2

49

陳 557-589 陳氏



50

萬安陵 陳初代武帝、陳霸先



右：辟邪 体長2.7m、高さ3.2m



左：辟邪 体長2.5m 高さ、2.6m

萬安陵 559

- 南京市江寧区白馬公園
- 辟邪 2
- 陳初代皇帝、武帝、陳霸先の墓
- <皇帝陵であるのに辟邪のため異論あり>

503-559 在位557-559
吳興（現浙江省湖州）の貧しい家の出身で、軍
人となる
547 交州の反乱を制し、頭角
552 王僧弁と共に、侯景の乱制圧。征北將軍に
554 梁元帝が北朝軍により殺され、敬帝を擁立
555 北齊・王僧弁が閔帝擁立
556 王僧弁を討ち、閔帝を廃し、再度敬帝擁立
557 敬帝から禪讓を受け、陳建国、敬帝を殺害
559 病死



52

永寧陵 566 陳二代文帝、陳蒨



右：麒麟 体長3.2m、高さ3.1m



左：天禄 体長3.1m、高さ3.0m

永寧陵 566

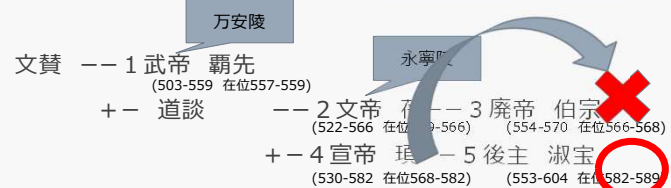
- ・南京市栖霞区栖霞
- ・麒麟 1、天禄 1
- ・陳二代皇帝、文帝、陳蒨の墓 ※宋文帝長寧陵、梁昭明太子陵説もある
520-566 在位559-566

陳初代皇帝、武帝の兄の子。その父は侯景の乱で、死ぬ。若い頃から聡明で、陳霸先から愛された。
557 陳建国後、臨川王(現江西省)に。
559 武帝の死後、遺言により即位。南朝の皇帝交代として珍しく平和裏に。
各地に残る反対勢力を平定、政治に励み、水利を改善、経済を回復させ、庶民は豊かになった。



54

陳 557-589 陳氏



55

・その他

56

蕭融墓 502

- 南京市栖霞区鍊油廠小学校
- 梁初代武帝の弟、5番目、蕭融の墓 472-501



右：辟邪



左：辟邪 前に小さな辟邪

57

陵口陵墓

- 丹陽市陵口
- 麒麟1、天禄1
- 蕭梁河をまたぎ、丹陽の陵墓全体を守る形で配置
- 時期不明だが、齊梁時代の中



麒麟 体長4.0m



天禄 体長4.0m 現存中最大

58

水経山失名墓 (一説 齊前廢帝鬱林王蕭昭業墓)

- 丹陽市水経山
- 辟邪2



昭業墓説が正しければ、493年で、辟邪の初現となる。



左：辟邪



右：辟邪 体長約2m

59

爛石壠失名墓 (一説 齊後廢帝海陵王蕭昭文墓)

- 丹陽市爛石壠
- 辟邪1



辟邪 体長1.6m

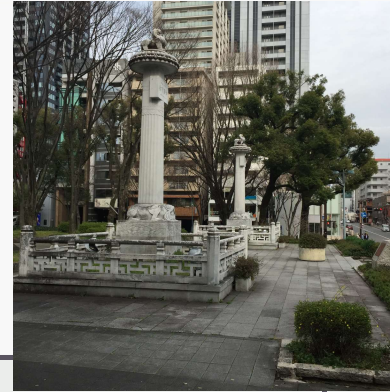
60



3. 日本

日本にある南朝石刻？

日本のどこ？



名古屋市

- 1978年8月 日中平和条約
- 1978年12月 名古屋市と南京市、友好都市提携、金城埠頭に、南京大路と命名。
- 1980年 石柱寄贈、南京広場に。
- 1982年 シスターシティフェア（金城埠頭）に麒麟像出品、終了後寄贈。南京大路に。
永寧陵麒麟
- 2003年 25周年記念 辟邪寄贈、東山動物園へ
蕭景墓辟邪（南京のシンボル）



63

参考文献・論文

<日本語>

- ・図録 中国南朝陵墓の石造物 南朝石刻
2002 檀原考古学研究所
- ・中国美術の図像と様式 研究篇
2006 曾布川寛 中央公論美術出版
- ・中国美術の図像と様式 図版篇
2006 曾布川寛 中央公論美術出版

<中国語>

- ・守望 栖霞地区南朝石刻大観
2010 南京市栖霞区地方志編纂委員会

<論文>

- ・南京・丹陽南朝陵墓有角石獸調査報告(1)(2)
2006 阪南大学山本謙治
- ・南朝陵墓神道石獸の陰陽表現をめぐって
阿部幸信
- ・麒麟考：東アジアにおける一角獣表象の基礎的研究（一）
和泉雅人 慶応義塾大学 2001
- ・その他 百度百科、維基百科(ウィキペディア中国語版) の記事多数

64

参考

『南京と歴史』 長田 格 Amazon
～金陵48景など名所・旧跡から南京の歴史をたどる～

2023 カラー版 ¥1,500※

2022 紙版 ¥1,500

2015 電子版 ¥1,013

※お勧め



『南京と日本』 長田 格 Amazon
～南京と日本のさまざまな関わり～

2023 カラー版 ¥1,200※

2022 紙版 ¥ 800

2015 電子版 ¥ 308

注1) 価格は税別
注2) 2023年6月20日以降、amazonは印刷コスト値上げをアナウンス。価格変更の可能性あり



65

ありがとうございました



長田 格
Kaku.Osada@nifty.com

2023/6/3